



バイエル薬品株式会社

〒530-0001
大阪市北区梅田 2-4-9
TEL 06-6133-7333
www.bayer.co.jp/byl

News Release

バイエル薬品 アレルギー性疾患治療剤「クラリチン」の日本における OTC 医薬品に関する「ライセンス及び商業化に関する契約」を大正製薬と締結

大阪、2016年7月15日 — バイエル薬品株式会社(本社:大阪市、以下バイエル薬品)は、2016年7月11日、大正製薬株式会社(本社:東京都豊島区、以下大正製薬)とアレルギー性疾患治療剤「クラリチン」の日本における OTC 医薬品に関する契約(「ライセンス及び商業化に関する契約」)を締結しました。

「クラリチン」は、効果の持続性と選択的ヒスタミン H₁ 受容体拮抗作用を有するアレルギー性疾患治療剤で、世界 123 カ国以上(2015年1月現在)で販売されています。また、日本国内においては、2002年より医療用医薬品として販売されています。

日本アレルギー学会の「鼻アレルギー診療ガイドライン(2016年版)」によると、日本においては、5人に2人がアレルギー性鼻炎に罹患しているという実態が明らかになっており、国内患者数は10年間で10%も増加しています。

バイエルは、グローバルで OTC トップ企業の一つであり、大正製薬は、日本での OTC 医薬品におけるリーディングカンパニーです。バイエル薬品は大正製薬と提携することで、アレルギー性疾患領域において、「クラリチン」を通じて日本のより多くの患者さんに、有効かつ安全で、しかも利用しやすいアレルギー性鼻炎対処の選択肢を提供していきたいと考えています。

大正製薬株式会社について

大正製薬株式会社は、「健康と美を願う生活者に納得していただける優れた医薬品・健康関連商品、情報及びサービスを、社会から支持される方法で創造・提供することにより、社会へ貢献する」ことを経営理念とし、日本国内において OTC 医薬品と健康関連商品からなるセルフメディケーション事業、医療用医薬品を手掛ける医薬事業を推進するとともに、東南アジアを中心とした海外事業を展開しています。1912 年の創業以来 100 年以上にわたって、バランスの取れた持続的な成長と競争力の強化を図っています。セルフメディケーション事業においては、リポビタンシリーズ、パブロンシリーズ、リアップシリーズをはじめとした強いブランドを有し、日本におけるリーディングカンパニーとして、生活者の健康でより豊かな暮らしの実現に貢献しています。

詳細は www.taisho.co.jp/ をご参照ください。

バイエルについて

Bayer: Science For A Better Life

バイエルは、ヘルスケアと農業関連のライフサイエンス領域を中核事業とするグローバル企業です。「Science For A Better Life」というミッションのもと、バイエルはその製品とサービスを通じて、人々のクオリティ・オブ・ライフ (QOL) の向上に貢献すると同時に、技術革新、成長、およびより高い収益力を通して企業価値を創造することも目指しています。また、バイエルは、持続可能な発展に対して、そして良き企業市民として社会と倫理の双方で責任を果たすために、これからも努力を続けます。グループ全体の売上高は 463 億ユーロ、従業員数は 116,800 名 (2015 年)。設備投資額は 26 億ユーロ、研究開発費は 43 億ユーロです。この数字は、コベストロ社として株式市場に 2015 年 10 月 6 日に上場した高機能ポリマー材料の事業を含んでいます。詳細は www.bayer.com をご参照ください。

バイエル薬品株式会社について

バイエル薬品株式会社は本社を大阪に置き、医療用医薬品、コンシューマーヘルス、動物用薬品の各事業からなるヘルスケア企業です。医療用医薬品部門では、循環器領域、腫瘍・血液領域、ウイメンズヘルスケア領域、眼科領域、画像診断領域に注力しています。コンシューマーヘルス部門では解熱鎮痛薬「バイエルアスピリン」をはじめ、アレルギー性疾患治療剤や皮膚科領域に注力しています。動物用薬品事業部は、動物用医薬品の提供を中心にコンパニオンアニマルおよび畜産動物のヘルスケアに貢献しています。同社は、「Science For A Better Life」というミッションのもと、技術革新と革新的な製品によって、日本の患者さんの「満たされない願い」に応える先進医薬品企業を目指しています。詳細は www.bayer.co.jp/byl をご参照ください。

バイエル薬品株式会社

2016 年 7 月 15 日

将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements)

このニュースリリースには、バイエルの経営陣による現在の試算および予測に基づく将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements) が含まれています。さまざまな既知・未知のリスク、不確実性、その他の要因により、将来の実績、財務状況、企業の動向または業績と、当文書における予測との間に大きな相違が生じることがあります。これらの要因には、当社の Web サイト上 (www.bayer.com) に公開されている報告書に説明されているものが含まれます。当社は、これらの将来予想に関する記述を更新し、将来の出来事または情勢に適合させる責任を負いません。